

なえどこ夜教室

代表者 井上 なつみ (経済学部地域社会システム学科3年)

1. 目的と概要

私たちは香川大学で、地域活性化に関する活動の情報不足、相談者や同志との交流の場の不足、気軽に参加できる学びの場の不足という現状を感じていました。そこで、地域活性化について学ぶ機会を学生自ら創り出し、広く大学生に学んでもらえる仕組みを作ることを目的に活動を始めました。今年度の主な活動の概要は、地域活性化に関する講演会・ワークショップを行うなえどこ夜教室の継続、ことடன்仏生山工場・瓦町FLAGでのなえどこ青空教室、小豆島への視察です。

2. 実施期間（実施日）

平成27年4月1日 から 平成28年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

○なえどこ夜教室

なえどこ夜教室では、「地域」と「働く」をテーマに、地域活性化に関する地域で活躍されている方をお招きし、講演会・ワークショップを実施しています。それらを通して、学び・モチベーションの場を作っています。月に1、2回、開催しており、今年度は、第23回から第29回の計7回行いました。また、このなえどこ夜教室は高松商工会議所さんと連携して行っています。

○なえどこ青空教室

なえどこ青空教室では、実際に現地を訪れ、各地域で取り組まれている事例を直接自分の目で見ること、地域活性化のあり方を夜教室とは違った形で学びます。今回は、第2回ということで、2015年11月11日（水）にことடன்社長真鍋康正さんを講師としてお招きし、ことடன்仏生山工場の見学、瓦町FLAGでの講演を行いました。ことடன்仏生山工場では、普段見ることができないところも特別に見学させていただきました。実際に見学することで、いろいろな発見に繋がったと思います。また瓦町FLAGでは、これからの、街と移動とコミュニケーションをテーマにお話しいただいた後、FLAGの次のメッセージを考えるというワークショップを行いました。アンケートで

は、工場見学と講演・ワークショップ共に、全員が満足・やや満足であるという結果でした。次回も参加したいかということについては、9割以上の方が参加したいと回答していただきました。また、8割以上の方が地域活性化や中小企業に対する関心が高まったという回答でした。

○視察

今年度は徳島県と愛媛県、小豆島に視察に行きました。

・徳島市市民活力開発センターの見学・グリーンバード徳島チームの活動への参加
2015年12月12日に徳島市市民活力開発センターが支援しているグリーンバード徳島チームの活動に実際に参加して来ました。このグループは若者を中心に楽しく掃除やゴミ拾いをしています。そして、地域の若者が集うプラットフォームになり、新しいコミュニティが生まれる場になっています。実際に参加することで、楽しみながら地域貢献できる喜びを感じました。また他大学の学生と交流することができ意見交換をすることができたので、今後の連携に繋げていきたいと考えています。

・松山アーバンデザインセンターでのヒアリング
2016年2月18日に、公・民・学が共にまちづくりに関する活動や議論を行う中心的な場所である松山アーバンデザインセンターに伺い、経緯や活動についてお話を聞きました。松山アーバンデザインセンターは、学生と社会人が共に学べる場であるアーバンデザインスクールや大学生によるプロジェクトなど様々なまちづくりに関することを行っています。お話を聞いたり見学させていただいたりしたことで、更に関心が湧いたので、講師として来年度以降呼びたいと考えています。

・喫茶白鳥の見学

2015年12月19日に香川大学小豆島SAKATEプロジェクトの視察に行きました。他のプロジェクトを見学する機会はなかなかなかったので、活動現場を視察することで良い点や悩みなどを共有することができました。同じ香川大学のプロジェクト同士、お互い良い刺激になったのではないかと思います。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

なえどこ夜教室には、学生以外に社会人の方も多く参加していただいています。広く学びの場を提供することができているだけでなく、学生と社会人の方が交流する場も提供できています。また、今年度はビジネス香川に私たちの活動を取り上げていただきました。香川大学がこのような学生の活動を積極的に支援しているということをもっと地域の方に知っていただくことができるのではないかと思います。また、なえどこ夜教室やなえどこ青空教室では、地元の企業や産業に興味・関心を持っていただくきっかけを作ることができたと思います。香川漆器についての回では、講演や漆器の技法の体験をす

ることによって、地域の伝統工芸について理解が深まったのではないかと思います。こ
とでんの回でも、実際に現場を訪れることで、普段知ることのできない地域産業の様子
を知ることができたと思います。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今年度はいろいろなところに視察に行かせていただき、地域活性化や地域貢献への理
解を深めることができました。地域貢献の取り組みや事例を多く知ることができただけ
でなく、同じようにプロジェクトなどを行っている同世代と交流し刺激を受けることが
できました。これらは、私たちにとって大変大きな収穫となりました。また、社会人の
方とのコミュニケーションの取り方を学ぶこともできました。なえどこの活動では、商
工会議所の方との打ち合わせ、講師の方とのメールや電話といった連絡、社会人の参加
者の方と接する時など、大人と接する機会が多くあります。その際、言葉遣いやマナー
などを社会に出たときに必要なことを意識し、学ぶことができました。普段の学生生活
では経験できないことを経験でき、本当に勉強になりました。他にも、なえどこの活動
を運営していく中で得られたことが多くあります。まず企画を考えながら、どのよう
にすればより中身を濃いものにできるか、どのようになればより多くの人に地域貢献に関
心を持ってもらえるかなどについて考え、試行錯誤しました。こうした方が効率よく上
手くいくといった新たな発見や気づきを得ることができ、よりよいものを作り出せるよ
うになったと思います。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

反省点として挙げられるのは、夜教室の参加者が固定化してしまっているところです。
アンケートの回答を見ても初めての方より5回目以上の方が多いたことがほとんどです。
何度もなえどこ夜教室に足を運んでいただいている方は地域貢献への意識が高まってき
ているということが常にアンケートの評価が高いことから分かります。しかし、それは
一部の人だけであって、参加したことがない人が多いのが現状です。多くの人に参加し
てもらうことで知識を得られるだけでなく交流することができるので、よりモチベー
ションが上がると思います。FacebookやTwitterなどのSNSでも発信を
続けつつ、情報発信のためになえどこのホームページを作りたいと考えています。ホー
ムページを作れば、簡単に今までどのような活動をしてきたか見られる上、夜教室をビ
デオ撮影して載せることができると思うからです。その他にも、授業や掲示板での宣伝
等にも力を入れていきたいと思っています。

また、来年度から現1年生のメンバーが中心に活動していきます。1年生自身、まだ
まだ勉強・経験が不足していると実感しています。さらに知識を得たり、経験したりす
ることが必要だと考えているので、研修・視察に行きたいと思っています。そして、講
師を選ぶ際参考にしたいと考えています。研修・視察だけでなく、自分たちだけで勉強
会を行うなどして更に中身の濃い活動にしていきたいと思っています。

7. 実施メンバー

代表者 井上 なつみ（経済学部3年）

構成員 長谷川 璃（経済学部3年）

網谷 未来（経済学部3年）

郷田 千遥（経済学部3年）

岩田 絵帆里（経済学部1年）

高田 恭花（経済学部1年）

須田 里奈（経済学部3年）

植島 万貴（経済学部3年）

秋山 和慧（経済学部1年）

遠藤 鈴（経済学部1年）

竹本 しおり（経済学部1年）